

事業所名

スマートキッズプラス亀有

支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 					
営業時間	平日	13時30分	から	18時0分	まで	送迎実施の有無	あり なし
	土曜	10時0分	から	16時0分	まで		
	長期休暇	9時0分	から	17時0分	まで		
支 援 内 容							
支援方法		個別課題			集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 利用者を主体とした自身で取り組むトイレトレーニングの課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題			危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 自立した生活を送るための買い物学習 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動		
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題			指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)		
	認知・行動	特性における認知の偏りを緩和し、興味・関心の幅を広げる課題 時計や数量についての理解に関わる課題 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題			数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ピンゴゲーム等) 金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 色や図形を用いた活動(ブロック、パズル等)		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わりの課題			文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関する〇×クイズ等)		
	人間関係・社会性	自身の感情理解やコントロールとしての切替・クールダウンに関する課題 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題			社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり方の理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)		
家族支援		家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組む、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。			移行支援		将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。 本事業所以外でも同様に取り組めるように支援の方法を共有する。
地域支援・地域連携		関係機関がそれぞれで得られた情報を共有すると共に役割分担を行い、当事業所のできる支援について明確に示し、利用者ひいては家族にとつてのQOL向上のための支援や将来に向けた対策について提案する。 担当の相談支援専門員と定期的に情報交換を行い、相談支援専門員を通して他事業所や学校等との連携を進める。			職員の質の向上		経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(昼食やおやつでの買い物、初詣、公園で遊ぼう、生物園へ行く、科学館で見学等)、調理活動(デザート作り、おにぎらず、ピザトースト作り等)、映画会やお楽しみ会、おやつバイキング等の教室内企画、保護者会、その他					